

仙台市地震ハザードマップ Earthquake Hazard Map

宮城県沖地震（連動型）による震度マップ
Seismic Intensity Map for the Miyagi-oki Earthquake (multi-segment)

太白区版 Taihaku Ward

震 度 Seismic intensity	
	震度7 Seismic intensity 7
	震度6強 Seismic intensity:Upper6
	震度6弱 Seismic intensity:Lower6
	震度5強 Seismic intensity:Upper5
	震度5弱 Seismic intensity:Lower5
	震度4 Seismic intensity 4
	震度3以下 Seismic intensity 3 or less

《 震度マップ 》

このマップは、宮城県第五次地震被害想定調査報告書(令和5年11月)の算定手法に基づいて、市内全体を250m四方に区分した区域(メッシュ)に分割し、地震の規模や震源の距離等から予測される「揺れの強さ」を表示したものです。

なお、メッシュの境目が揺れやすさの境界を示すわけではありません。また、設定した震源特性や地下構造には不確定な部分があるため、地震の発生の仕方によって、実際の揺れの大きさは変動することがあります。

《 宮城県沖地震(連動型)：想定した地震規模：マグニチュード8.0 》

この地震は、平均発生間隔が38年とされる宮城県沖で発生するプレート間地震が、周辺の断層や地震活動と連動して起こるケースであり、過去には、1793年(寛政5年)に発生したことがあると考えられています。なお、1978年(昭和53年)の宮城県沖地震よりも規模が大きいものとされています。

